

THE RECORD

社団法人 日本レコード協会

平成6年9月1日発行

RECORDING INDUSTRY ASSOCIATION OF JAPAN 〒104 東京都中央区築地2-8-9 Tel (3541) 4411(代)

平成6年9月号 No. 418

変貌続くCDレンタル業界の実態

調査店

レコード協会では、全国のCDレンタル店の実態を把握するために、本年4月～6月の間、当協会加盟社の全国各地の支店・営業所の協力を得て、CDレンタル店全店に対する訪店調査を行いました。

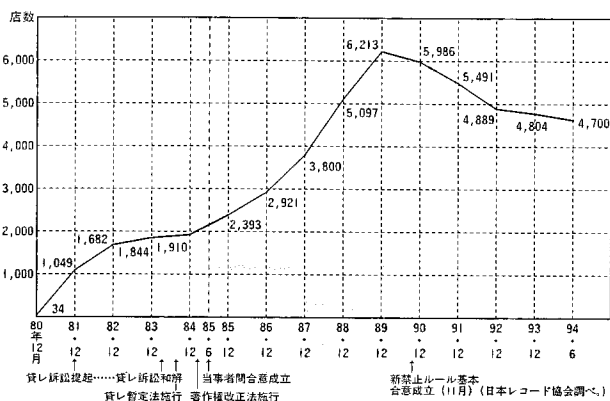
本稿ではこの調査結果と日常の調査活動によって収集した情報・資料を基に現在のCDレンタル業界の実態に触れ、CDレンタルの動向を探ってみました。

1 CDレンタル店数の減少スピード緩やかになる

一九八〇年にLPのレンタルでスタートしたレコードレンタル業は、一九八六年以降LPからCDへレンタル用レコードをシフトし急速にその店舗数を拡大、一九八九年末にはそのピークを迎え、全国で六、二一三店にまで急増しましたが、これ以降毎月店舗数が減少し、本年6月末には四、七〇〇店とピーク時から約24%減少しました。(図1参照)

店舗数が減少した当初から約3年間は毎月40店近く減少していましたが、一昨年11月頃から減少のスピードが緩やかになり、最近一年半の月平均減少店舗数は約11店になっています。但し、CDレンタル店の激しい新旧交替は今日でも続いており、廃業店及び新規開業店は併せて毎月一〇〇店舗前後有り、その実態は大きく変貌を続けています。

図1 全国レコードレンタル店数の推移 (1980～94年)



平均減少店舗数は約11店になっています。但し、CDレンタル店の激しい新旧交替は今日でも続いており、廃業店及び新規開業店は併せて毎月一〇〇店舗前後有り、その実態は大きく変貌を続けています。

2 表1 一店舗当たりの単純平均在庫数

	CDアルバム	対前年比	CDシングル	対前年比
北海道	4,623枚	102.5%	2,939枚	138.2%
東北	5,244	108.3	3,324	132.0
北関東	5,300	98.5	3,983	134.5
東京	4,764	91.0	2,981	121.4
南関東	5,415	95.4	3,914	136.1
中部	5,887	97.7	3,976	119.6
近畿	5,435	94.1	3,400	109.1
中国	5,409	98.7	3,628	126.5
九州	5,585	101.6	4,118	126.1
全国	5,360	97.7	3,773	128.6

2 業態の変化

CDレンタル業界は、CDレンタル店の相次ぐ廃業、新規開業等によって、変貌を続けていますが、その兼業の状況も年々変化しています。CDレンタルとビデオレンタルを兼業している店舗は、昨年4月の調査では、CDレンタル店の89%でしたが、本年は91%に増加しています。このため、CDレンタル専門店は、全国で三九六店(前年比82%)に減少しています。

書籍販売業の参入も活発でCDレンタル店全体の27%が書籍販売を兼業、前年より約1%そのシェアを増やしており、将来も増加の傾向を見

表2 CDレンタル専門店とビデオレンタル兼業店の店舗規模比較

(面積・在庫数は1店舗当たりの数字)

店舗の業態	該店舗数	店舗総面積	CDレンタル面積	ビデオレンタル面積
CDレンタルの専門店	396店 (82%)	90.9㎡ (102%)	46.3㎡ (97%)	-
ビデオレンタルとCDレンタルの兼業店	4,076 (100)	259.1 (100)	53.7 (100)	116.4㎡ (103%)

店舗の業態	CDアルバム在庫数	CDシングル在庫数
CDレンタルの専門店	5,138枚 (97%)	3,296枚 (110%)
ビデオレンタルとCDレンタルの兼業店	5,381 (98)	3,820 (130)

()内は、対前年比。

せています。

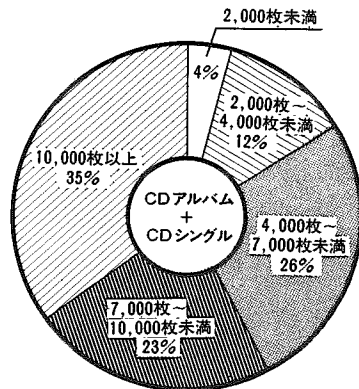
ファミコンソフト販売の兼業店は、全体の20%（前年は19%）で今後も増加すると考えられます。
また、昨年10月に一部レンタル解禁になったLDをレンタル用に在庫している店舗は二七店あり、シェアは5%でした。

3 店舗の規模

CDレンタル店の在庫総量は、今回の調査では、CDアルバムが二、三九七万枚（前年比4%減）、CDシングルが一、六八七万枚（前年比26%増）となっており、特にCDシングルの急伸長が目立ちました。

これを一店舗当たりの在庫数で見ると、CDアルバムが五、三六〇枚（前年比2%減）、CDシングルが三、七七三枚（前年比29%増）となっていますが、CDシングルの大幅増が目立ちます。（表1参照）
ビデオレンタル兼業店のビデオテープの平均在庫数は、八、四五五本（前年比8%増）となっています。
CD在庫規模別に店舗の分布状況をみますと、CDアルバムとCDシングルの合わせた在庫数が四千枚未満の小規模店が昨年の18%から16%にシェアを落とす一方、一万枚以上在庫している大規模店が30%から35%へ増加し、店舗の大型化を現しています。（図2参照）
また、売場面積で店舗の規模を見てみると、一店舗当たりの総店舗面積（他の売場を含む）は二四四㎡となつて昨年より6%拡大、CDレンタルコーナー面積は前年と同じ五三㎡、ビデオレンタルコーナー面積は一一六㎡となつて前年に比して3%拡大しました。
この店舗面積について、CDレンタル専門店とビデオレンタル兼業店とを比較すると、CDレンタル専門店の総店舗面積は九一㎡、CDレンタルコーナー面積は四六㎡で小規模ですが、ビデオレンタル兼業店の総店舗面積は二六〇㎡、CDレンタル

図2 レンタル店のCD在庫規模別の店舗分布状況



コーナー面積は五四㎡、ビデオレンタルコーナー面積は一一六㎡となっています。

CDアルバム、CDシングルの平均在庫数については、何れもビデオレンタル兼業店の方がCDレンタル専門店より在庫量は多くなっています。（表2参照）

4 CDレンタル業界の課題

CDレンタル業界は、バブル崩壊後の消費抑制の基調が続く中も、店舗数は僅かの減傾向が続くに止まり、ここ2年間は比較的安定している業界とみられてきました。

しかし、個々の店舗で見ると、店舗の大型化、CDアルバム在庫数の縮小、CDシングル在庫数の増加、AV複合レンタル店への移行、書籍

販売兼業やファミコン販売兼業の増加等その業態は変化しています。

一昨年一月からは洋盤新譜レコードが、発売後一年間レンタルが禁止されています。邦盤についても、本年10月1日からは現在の経過措置期間を終え、最終ステップである第3ステップに移行し、新譜邦盤アルバムは発売後最長三週間レンタル禁止となります。

レコード協会のユーザー実態調査では、レンタル店でCDを借りてコピーするユーザーは95%に達しているとの調査結果が出ています。

安価に様々なジャンルの音楽を多くのユーザーに提供することの出来るCDレンタルは、音楽ファンの底辺を拡げているとも言えますが、コピーして買わずに済ませますという悪弊を蔓延させてしまったとも言えます。
音楽文化を支えている音楽産業が発展するためには、販売業界とレンタル業界がバランスを取って共存しなければなりません。

CDレンタル業は、音楽文化発展のために、新しい貸与権の運用ルールの基に、レンタル秩序を守っていくことの重要性を十分認識し、貸与許諾契約及び使用料及び報酬の支払い契約の各条項を遵守して営業していくことが何よりも、今、求められています。

邦盤レンタル

10月から第3ステップへ移行

一昨年の10月に邦盤の貸与禁止期間を最長2週間とする第2ステップに移行しましたが、本年10月1日からはいよいよ最終段階である第3ステップに移行します。

前回の第2ステップ移行時には、外国レコードメーカーが1年間の貸与禁止を譲らなかつた事から、邦盤の貸与禁止措置の見直しを行いました。今回はCDレンタル業界を取り巻く環境等に大きな変化がなかったことから、合意とおり10月から邦盤の貸与禁止期間を最長3週間とする第3ステップへ移行することになりました。

第3ステップの禁止措置は、次のとおり実施されます。

1. 実施日 94年10月1日。

2. 措置 特定曜日をレンタル解禁日とする。

(1) アルバム 月曜日から日曜日までの間に発売される新譜レコードを、翌々週の月曜日にレンタルを解禁する。

(10月1日以降発売新譜から実施)

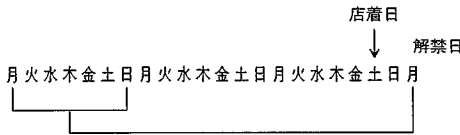
(2) シングル 火曜日から木曜日までの間に発売される新譜レコードは、その週の木曜日にレンタルを解禁し、金曜日から月曜日までの間に発売される新譜レコードは、その週の月曜日にレンタルを解禁する。(第2ステップと同じ)

3. 使用料 アルバム 1枚 30円
シングル 1枚 85円

4. レンタル用シール 基準色を赤に変更。

第3ステップ

邦楽アルバム (現行の2週間禁止にプラス7日)



Act Against AIDS

エイズ防止のためのキャンペーン実施

昨年に続き、今年も(社)日本音楽事業者協会、(社)音楽制作者連盟、(社)音楽出版社協会、(社)全国コンサートツアー事業者協会、(社)日本レコード協会の音楽関係5団体の後援のもとに、音楽業界を挙げて、エイズ防止を目指すボランティア運動「Act Against AIDS」が展開されることになりました。

今年、第10回国際エイズ会議がこの8月に横浜で開催されました。アジアで行われる初めての「国際エイズ会議」で、世界中で増え続けるHIVウイルス感染者や、急増する母子感染の実態、エイズ孤児の問題などが報告され、連日のテレビ、新聞等マスコミ報道により、山積する難問を一般家庭に投げかけました。

日本においても、感染者数が激増し、特に21世紀を担う若年層に拡がっていく傾向にあります。若年層にとつて一番身近な、音楽に関係する私たちが、一人でも多くの人々と共にエイズ予防に向かって力を合わせることが大事なことです。

昨年同様、この運動に賛同された多くの関係団体が協力団体として参

加し、今年は「勇気と愛気」をスローガンに掲げ、この運動を推進して行きます。

具体的には、8月13日の「第10回国際エイズ会議」のファイナルイベントとなった「アルフィー」のコンサートを皮切りに、12月1日の「世界エイズデー」には、AAA運動を支持するアーティストによる全国主要都市で本年度の運動のピークを迎えます。

また、昨年同様、エイズで亡くなった米国の有名なドローイング・アーティストのキース・ヘリング氏のイラストをシンボルとしたバッジの着用でPRの促進と定着を図ります。当協会では、レコード店、書店、貸しレコード店等へのバッジの流通を担当します。

その他、ゲームソフト業界とのタイアップや、ダイヤルQ2の利用による啓蒙を含め、全国の高校、大学での文化祭、学園祭でのPR活動等を展開して行きます。

こうした活動の中で、バッジ等の収益金は、啓蒙活動に使われます。どうかこの運動に皆様方の絶大なご協力をお願い致します。

Q盤ウインターキャンペーン 概要固まる

新しい需要拡大策の一環として今夏よりスタートしました「Q盤キャンペーン」に関して、販売店のアンケートで、継続希望が約70%と盛況だったことは、既にお知らせ致しました通りです。

当協会では「Q盤プロジェクト」並びに「需要拡大委員会」を中心に販売店アンケート等を参考に今夏のキャンペーンの反省も踏まえ、再三にわたり検討を重ねてまいりましたが、年末需要拡大期に向けて「Q盤ウインターキャンペーン」の概要が固まりましたのでお知らせします。

1、ウインターキャンペーンの特徴

①販売店からの要望が強かった、店頭配付用チラシに関して、「ポスターを兼ねたチラシ」を大量に（約百万部予定）作成してユーザー配布し、キャンペーンの認知と需要拡大を図る。

②好評だった「Q盤大辞典（カタログ）」は、引き続き新譜分（約四百タイトル）を加えて作成する。今回は受注限定生産とし当該

カタログのご希望店には一部費用を負担していただく。

③前回のキャンペーンを踏まえ、「Q盤」商品のより一層のユーザー認知と、定着を狙いとし、広告、宣伝を前回以上に強化する。

2、Q盤ウインターキャンペーンの概要

①実施時期
追加新譜が各社から出揃う12月上旬に、集中的な拡売キャンペーンを展開する。

②対象商品
約千三百九十タイトル（既発商品 九百七十／新譜商品 四百二十）

③チラシの作成、配布
B3・4折／B5サイズ、両面カラー、約三百八十タイトル掲載、告知ポスターを兼ねる。
・11月下旬配布予定。

④Q盤大辞典の作成、配布

受注限定12万部作成予定。
・11月下旬配布予定。

⑤宣伝広告

*朝日新聞（東京・大阪版）朝刊・全十五段広告
・12月上旬掲載

*地方紙（北海道、河北、中日、中国、西日本）朝刊・全五段広告
・12月上旬掲載

*中高年層向け雑誌広告の実施
*専任プロモーターの設置による宣伝活動の継続・強化。

以上がウインターキャンペーンの概要ですが、夏の導入キャンペーンの成果を、より一層推し進めることを基本に、販売店の皆様には、店頭における「Q盤コーナーの設置」を引き続きお願いし、制販一体となつて、「中高年層ユーザーに対する音楽市場への呼び込みアプローチ」 「Q盤商品による新たな商品ラインの設定」に向けて具体的な施策を展開し、需要拡大を図ります。



『日本のレコード産業 （一九九四年版）』 を發行

当協会は、日本のレコード産業の概況、課題、生産状況などを、解りやすく図説した『日本のレコード産業』を毎年発行していますが、このほど、一九九四年版が完成しました。主な掲載内容は、次のとおりです。

- ①日本のレコード生産の概況
- ②日本のレコード産業の課題
- ③レコードの生産（生産数量、生産金額、種類別カタログ数、他）
- ④関連資料（輸出入状況、海外各国の売上状況、個人録音実態、他）

又、同内容の英語版『RIAJ Year Book 1994』も近日中に発行を予定しています。

御希望の方は、当協会技術部へお問い合わせ下さい。

■お詫びと訂正

前月号でご案内しました関係官庁の人事異動に關しまして誤りがございました。お詫びして、訂正させていただきます。

（正）国税局26部門総括主査 金内秀也氏
（誤）国税局26部門総括主査 金打秀也氏

平成5年7月度(6月21日~7月20日)のヒットチャートデータがまとまりました。これによる各ランクの5位までは次のとおりです。

順位	タイトル	アーティスト	発売元
■邦楽・洋楽合同シングル 5位			
1.	瞳そらさないで	DEEN	(BG)
2.	innocent world	MR. CHILDREN	(TF)
3.	Boy Meets Girl	trf	(AV)
4.	Rusty Nail	X JAPAN	(EW)
5.	恋してムーチョ	チューブ	(SME)
■洋楽シングル 5位			
1.	愛を感じて	エルトン・ジョン	(PH)
2.	LIFE 〜ステイ・ゴールド〜	ステイービー・ワシダー	(PO)
3.	イフ	ブレッド	(WJ)
4.	ホール・ニュー・ワールド	レジーナ・ベル & ビーボ・ブライソン	(SME)
5.	ベイビー・アイ・ラヴ・ユア・ウェイ	ビッグ・マウンテン	(BV)
■邦楽・洋楽合同アルバム 5位			
1.	LINDBERG VII	LINDBERG	(TJC)
2.	終わらない夏に	チューブ	(SME)
3.	OH MY LOVE	ZARD	(BG)
4.	16th Summer Breeze	杏里	(FL)
5.	the Name Is...	矢沢永吉	(TO)
■クラシックアルバム 5位			
1.	「グレゴリアン・チャント」	シロス修道院合唱団	(TO)
2.	新日本紀行/富田 勲の音楽	富田 勲	(BV)
3.	ヴァイオリンの夜	古沢 巖 (Vn)	(SME)
4.	泣きたいだけ泣いてごらん	ベルリンフィル	
		12人のチェリストたち	(FUN)
5.	ひばり	古沢 巖 (Vn)	(SME)
■洋楽アルバム 5位			
1.	HITS I	エリック・クラプトン 他	(WJ)
2.	ヴードゥー・ラウンジ	ザ・ローリング・ストーンズ	(TO)
3.	フォー・ザ・ラヴ・オブ・ユー	ジャネット・ケイ	(SME)
4.	ウォーク・オン	ボストン	(MV)
5.	ロウ・ライク・スシIII	MR. BIG	(EW)

※日本コロムビア(C)/ビクターエンタテインメント(V)/キングレコード(K)/テイチク(TE)/ポニーレコード(PO)/東芝EMI(TO)/日本クラウン(CR)/徳間ジャパン(TJC)/ソニー・ミュージックエンタテインメント(SME)/日本フォノグラム(PH)/ポニーキャニオン(PC)/ワーナーミュージック・ジャパン(WJ)/アポロン(AP)/フォーライフレコード(FL)/ハップ(VAP)/トラスレコード(TA)/ポリスター(PS)/アルファレコード(AL)/キティエンタープライズ(KT)/ファンハウス(FUN)/イーストウエスト・ジャパン(EW)/BMGビクター(BV)/NECアベニュー(NA)/WEAミュージック(WEA)/メルタック(ME)/ハマングバー(FHB)/TDKコア(TDK)/メディアモラス(MR)/AXEC(AX)/トイズ・ファクトリー・レコード(TF)/バンダイ(BD)/パイオニアLDC(PI)/MCAビクター(MV)/ロッキットレコード(RO)/エイベックス・ディー・ティ(AV)/ピージ(BJ)/ツァインレコード(ZA)/BMGルームス(BM)/ビクター(BG)/ワン・アップ・ミュージック(UP)

7月度「ゴールド・アルバム」他認定作品

7月度のゴールド・アルバム他が次のとおり認定されました。

■アルバム (23作品)

- クワドラプル・プラチナ
OH MY LOVE/ZARD (BG)
- トリプル・プラチナ
終わらない夏に/チューブ (SME)
アンブラッド〜アコースティック・クラブトン/エリック・クラブトン (WJ)
- ミリオン
WORLD GROOVE/trf (AV)
- ダブル・プラチナ
THE BADDEST II/久保田利伸 (SME)
オール・ザット・シー・ウォンツ/エイス・オブ・ベース (BV)
- プラチナ
LINDBERG VII/LINDBERG (TJC)
BIBLE/松田聖子 (SME)
12インチ・オブ・スノー/スノー (EW)
ラヴ・ユー・オールウェイズ/ジャネット・ケイ (SME)
- ゴールド
the NAME is.../矢沢永吉 (TO)
16th Summer Breeze/杏里 (FL)
TMN BLACK〜T. Komuro Presents/TMN (SME)
風の歌を聴け/オリジナル・ラヴ (TO)
KIND OF LOVE/MR. CHILDREN (TF)
TMN RED〜T. Utsumomiya Presents/TMN (SME)
SMAP 006/SMAP (V)
HITS I/エリック・クラブトン (WJ)
ヴードゥー・ラウンジ/ザ・ローリング・ストーンズ (TO)
ナウ・アンド・フォーエヴァー/リチャード・マークス (TO)
フォー・ザ・ラヴ・オブ・ユー/ジャネット・ケイ (SME)
ウォーク・オン/ボストン (MV)
ジャミロクワイ/ジャミロクワイ (SME)

■シングル (18作品)

- ミリオン
空と君のあいだに/ファイト!
/中島みゆき (PC)
innocent world/MR. CHILDREN (TF)
- ダブルプラチナ
夏を抱きしめて/チューブ (SME)
愛が生まれた日/藤谷美和子/大内義昭 (C)
鳥唄/THE BOOM (SME)
世界が終わるまでは.../WANDS (BG)
survival d'ANCE no no cry more~/trf (AV)
- プラチナ
Rusty Nail/X JAPAN (EW)
恋してムーチョ/チューブ (SME)
冷たいキス/ICE BOX (ME)
Boy Meets Girl/trf (AV)
瞳そらさないで/DEEN (BG)
- ゴールド
Miss You/今井美樹 (FL)
ライブがはねたら/NOKKO (SME)
女泣川/藤 あや子 (SME)
STAY GOLD/ZIGGY (TJC)
SWEET SILENCE/access (FUN)
冬の散歩道/サイモン&ガーファンクル (SME)

世界の話題

■音楽産業の業績

I F P Iの法律顧問、D. スイニー氏は、「音楽産業の主な収入源は、販売とライセンスだ。ライセンス収入は少額だが、演奏権はレコード産業の存続に不可欠である」と述べています。

現在、世界の販売収入は287億万米ドル、演奏権収入1億500万米ドルです。

演奏権は徴収団体に委ねられますが、作曲に対する演奏権収入は以下のように大幅に伸びています。1990年 [12億1,900万]、1991年 [14億2,900万]、1992年 [15億400万] (米ドル)。

これは、各国内著作権法の著作者に有利な規定が、著作者に高収入をもたらすもので、著作者の権利は、原則的に排他的で、報酬請求権であることは稀です。

今日まで、レコード産業は、効率的な製品の販売とその管理によって、多くの国々で配当を支払ってきました。しかし、デジタル技術による市場の変化に伴い、音楽産業も変化する必要があります。製品の店頭販売を保護した権利は、大多数の西側諸国で一般的には満足のいくものです。しかし、レコード製作者のデジタル送信に対する権利は、今のところ不十分です。

デジタル送信が販売に悪影響を与えることは確かですが、これが最終的に販売に取って代わるかどうかは、現段階では解りません。

消費者がレコードの代わりにデジタル音楽通信を利用するということは、レコード販売が減少す

る代わりに、音楽デジタル放送とケーブル通信が増加することを意味します。

著作者はこの分野で排他的な権利を有しており、販売収入の損失を演奏収入の増加によって補うことができると思われます。著作者が法的に強い立場に居るのは、過去において彼等が演奏権の重要性を将来の収入の基礎と認識したからです。

レコード製作者の演奏権は、民間ラジオ局、ディスコ、ナイトクラブ等で最も有効に利用されていると思われます。

一方、レコード産業の音楽ビデオの使用が80%を占めるMTVヨーロッパを見ると、MTVを所有するヴィアコム社の1992年の収入は6,000〜7,000万米ドルですが、1994年度のMTVヨーロッパの売上高は、最低でも1億米ドルになると予想されています。

現在音楽産業が有する演奏権は、あらゆるライセンスにおいて、長期的な意味合いを考慮して有利に利用されるべきです。

技術の進歩に伴い、レコード産業における排他的な演奏権が特に重要になっていると言えます。

(IFPI機関紙 '94/7)

■米国通商代表部の対中国施策

米国が中国をスペシャル301条の「優先交渉国」に指定する発表に対し、IFPI事務総長のガーネット氏は次のように述べ、支持を表明しました。

「カンター通商代表の発表は、中

国の知的所有権保護の欠陥により、米国製レコードを始めとする世界のレコード産業が大きな影響を受けている中で行われた。米国は、中国が著作権の侵害を止め、合法的なライセンスに対して市場を解放するように、尽力している。

中国は、CD製作の規制の整備に向けて進展を示したが、知的所有権の市場に秩序をもたらすには、米国とEUの強い態度が、不可欠である。EUは、中国の意図的な著作権侵害に対して異議を申し立てている。米政府の行動は、緊急な改革が必要なこの問題について、主な貿易相手の賛同を中国に対して強く示したのだ。

欧米の産業界と政府は、著作権問題を指摘するだけでなく、著作権を尊重し、利益を享受する国際社会の中に、中国が統合される方策が展開できるように中国当局者と協力する熱意を示してきた。」

中国当局は、実際的な対策として、著作権を基盤とする産業に直接的に責任を有する7人の大臣の指令を発表しました。この指令には、CDやLD工場への規制の強化と、全てのCD複製機器の輸入及びCDの輸出に関する国の許可の義務付け、全国的なCDの取締りが盛り込まれています。

著作権局は今週、中国内の外国著作権物の無許可販売を防ぐため、オーディオとビデオ製品の認証制度を始めました。レコード産業もIFPIを通じてまもなく署名するものと予想されます。

(IFPIプレス '94/7/1)

会議メモ (主なもの)

(8月1日~8月31日)

- 8・4 日本音楽家ユニオン委員会
- 8・4 技術委員会
- 8・9 Q盤プロジェクト
- 8・10 著作権部会

- 8・10 営業部会
- 8・10 レコード制作基準倫理委員会
- 8・11 法制委員会
- 8・18 需要拡大委員会
- 8・18 Q盤プロジェクト
- 8・18 制作技術専門部会
- 8・19 洋楽宣伝専門部会
- 8・22 臨時理事会
- 8・22 宣伝プロジェクト
- 8・23 音楽ギフトカード委員会
- 8・23 ビデオプロジェクト
- 8・24 業務委員会
- 8・25 洋楽企画専門部会
- 8・30 ビデオ部会
- 8・30 廃盤セール研究会
- 8・30 Q盤プロジェクト

1994年 7月レコード生産実績

数量：千枚・巻

単位

金額：百万円

表1. オーディオディスク

		7月 実績						1994年(1月~7月) 累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
C	邦洋計	11,960	37	74	7,739	19	73	76,450	38	82	49,920	19	86
	邦	288	1	179	172	0	174	1,588	1	102	875	0	92
	洋計	12,248	38	75	7,911	19	74	78,038	39	83	50,796	20	86
D	邦洋計	12,639	39	119	22,293	54	120	78,024	39	102	135,345	53	101
	邦	7,111	22	129	11,317	27	133	46,237	23	113	70,511	27	115
	洋計	19,750	62	122	33,610	81	124	124,260	61	106	205,855	80	106
小計	邦洋計	24,599	77	91	30,032	72	103	154,474	76	91	185,265	72	97
	邦	7,399	23	131	11,490	28	133	47,824	24	113	71,386	28	114
	洋計	31,997	100	98	41,522	100	110	202,298	100	96	256,551	100	101
アログ	邦洋計	18	0	28	15	0	41	93	0	105	114	0	169
	邦	11	0	14	16	0	11	162	0	37	295	0	34
	洋計	29	0	21	31	0	17	254	0	49	409	0	44
合計	邦洋計	24,617	77	91	30,047	72	103	154,566	76	91	185,379	72	97
	邦	7,409	23	129	11,506	28	131	47,986	24	112	71,681	28	113
	洋計	32,026	100	98	41,553	100	109	202,552	100	96	257,060	100	101

表2. オーディオテープ

		7月 実績						1994年(1月~7月) 累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
カセット	邦洋計	2,623	99	106	2,050	99	88	16,289	99	83	13,765	98	82
	邦	27	1	63	31	1	57	217	1	60	256	2	56
	洋計	2,650	100	106	2,082	100	87	16,505	100	83	14,021	100	82
カートリッジ	邦洋計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	邦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	洋計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	邦洋計	2,623	99	106	2,050	99	88	16,289	99	83	13,765	98	82
	邦	27	1	63	31	1	57	217	1	60	256	2	56
	洋計	2,650	100	106	2,082	100	87	16,505	100	83	14,021	100	82

表3. 複合型CD (CDグラフィックス、CD-I、CD-ROMなど)

		7月 実績						1994年(1月~7月) 累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
邦洋計	邦	1,515	99	267	1,609	99	261	11,464	100	343	10,600	100	314
	洋	12	1	21,091	15	1	19,773	32	0	37	53	0	159
	合計	1,526	100	269	1,624	100	264	11,496	100	335	10,653	100	313

表4. ビデオレコード

		7月 実績						1994年(1月~7月) 累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
ディスク	邦洋計	1,533	44	114	4,602	39	97	10,097	51	106	30,328	43	94
	邦	1,918	56	126	7,195	61	109	9,860	49	110	40,287	57	104
	洋計	3,451	100	120	11,797	100	104	19,957	100	108	70,616	100	100

表5. オーディオ/ビデオ/AV複合型レコード合計

		7月 実績						1994年(1月~7月) 累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ	邦洋計	34,676	87	99	43,635	76	108	219,058	87	95	271,080	77	100
	邦	1,526	4	269	1,624	3	264	11,496	5	335	10,653	3	313
	洋	3,451	9	120	11,797	21	104	19,957	8	108	70,616	20	100
合計	合計	39,653	100	103	57,057	100	109	250,511	100	99	352,349	100	102

備考 1. 本年実績は、会員会社「27社」の集計である。
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。

オーディオディスクレコードの輸出入状況

本号は、1994年上期（1～6月）のアナログディスクとCDの輸出入実績を紹介します。資料：大蔵省関税局「日本貿易統計」（通関実績）から。

図1 種類別輸出数量比率 (1994年1～6月)

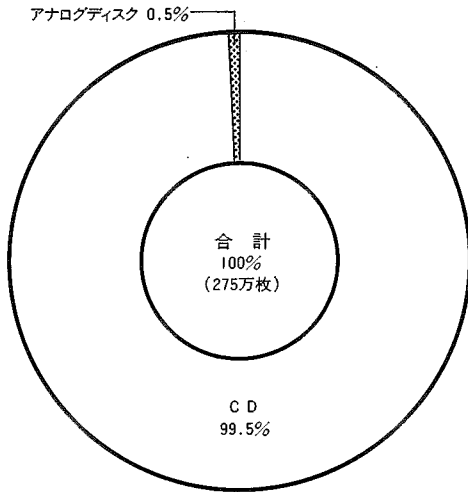


図2 種類別輸入数量比率 (1994年1～6月)

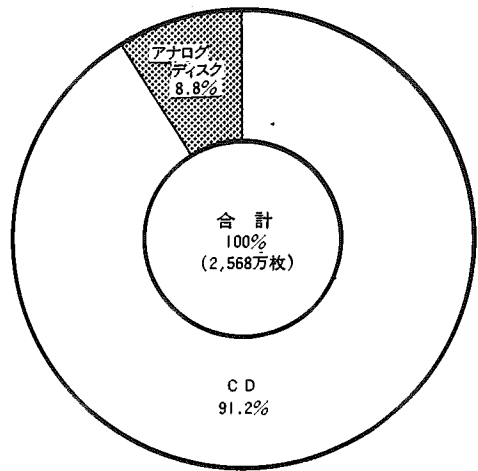


表1 オーディオディスク種類別輸出入実績 (1994年1～6月)

	輸 出				輸 入			
	数量 (千枚)	前年比	金額 (百万円)	前年比	数量 (千枚)	前年比	金額 (百万円)	前年比
コンパクトディスク (CD)	2,738	75%	2,420	83%	23,420	130%	16,114	134%
アナログディスク	33回転	12	31	24	1,641	130	976	131
	45回転	1	50	50	616	148	214	153
計	2,751	74	2,437	81	25,677	131	17,304	134

(注) 1. 輸出・入実績には、委託加工品 (OEM) を含む。
2. 輸入実績 (数量) の内、レコード会社が直接輸入したものはCDが約4割、アナログディスクが約1割と推定される。

表2 オーディオディスク地域別輸出入実績 (1994年1～6月)

金額：百万円，数量：千枚

		輸 出				輸 入			
		CD	アナログディスク		計	CD	アナログディスク		計
			33回転	45回転			33回転	45回転	
アメリカ	金額	654	1	—	655	8,823	541	38	9,402
	数量	721	0	—	721	9,573	1,053	101	10,727
イギリス	金額	75	3	—	78	3,106	310	124	3,540
	数量	64	4	—	68	3,979	410	289	4,678
ドイツ	金額	139	5	1	145	2,107	74	8	2,189
	数量	161	4	0	165	3,173	87	15	3,275
香港	金額	683	1	1	685	291	—	—	291
	数量	950	0	0	950	672	—	—	672
その他	金額	869	5	0	874	1,787	51	44	1,882
	数量	842	4	1	847	6,023	91	211	6,325
合計	金額	2,420	15	2	2,437	16,114	976	214	17,304
	数量	2,738	12	1	2,751	23,420	1,641	616	25,677